

雜 報

人 事

<p>岡山醫科大學教授 奥島 貫一郎 <small>(十一月二十一日)</small></p> <p>賜本俸五級俸</p> <p>歩兵第八十聯隊附 跡部 鉄朗 <small>陸軍一等軍醫</small> <small>(十一月二十八日)</small></p> <p>廣島衛戍病院附被仰付</p> <p>岡山醫科大學助教授 濱崎 幸雄 <small>(十二月一日)</small></p> <p>陸裁高等官五等</p> <p>吳防備隊軍醫長兼分隊長吳 佃 卓三郎 <small>海軍病院部員海軍軍醫中佐</small></p> <p>補吳海軍病院部員</p> <p>横須賀海軍病院部員兼横須 藤田 秀三郎 <small>賀鎮守府出仕海軍軍醫中佐</small></p> <p>補佐世保海兵團軍醫長</p> <p>吳海軍工廠醫務部 菅田 直樹 <small>部員海軍軍醫中佐</small></p> <p>補吳海軍病院副官兼部員</p> <p>海軍軍醫少佐 黒木 武一</p> <p>補横須賀海軍病院部員兼教官</p>	<p>第十九驅逐隊軍醫長 有馬 立 <small>海軍軍醫大尉</small></p> <p>横須賀鎮守府附被仰付</p> <p>湊海軍病院副官兼 林 成道 <small>部員海軍軍醫少佐</small></p> <p>海軍軍醫學校選科學生被仰付 <small>(十二月一日)</small></p> <p>海軍軍醫大尉 西田 實雄</p> <p>海軍軍醫大尉 廣川 濟</p> <p>海軍軍醫大尉 中村 博郷 <small>(十二月一日)</small></p> <p>賜一級俸</p> <p>叙從七位 正八位 寺岡 森太郎 <small>(十二月一日)</small></p> <p>海軍水雷學校軍醫長兼海軍通 栗栖 幸穂 <small>信學校軍醫長海軍軍醫中佐</small></p> <p>兼補海軍水雷學校分隊長 <small>(十二月十五日)</small></p>
---	---

- 松 森 明君 は豫て岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室に勤務し居られしが今般吳市海軍共濟會病院に轉勤せられたり
- 柳 榮君 は倉敷市中央病院婦人科に勤務の傍ら岡山醫科大學衛生學教室に於て研究中なりしが今般北海道帶廣町島田病院に轉勤せられたり
- 西村伊勢松君 は豫て吳市海軍共濟會病院に勤務し居られしが今般其職を辭し岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室に勤務せられたり
- 孝 橋 周 徳君 は豫て岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室に勤務し居られしが今般兵庫縣水上郡町立柏原病院に轉勤せられたり
- 桑 原 良 一君 山口縣防府町弘中病院に勤務し居られし同君は今般同院を辭し再び岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室に勤務せられたり
- 富 田 廉 三君 は豫て岡山醫科大學稻田内科教室に勤務し居られしが今般辭職廣島縣御調郡三原町に於て開業せられたり
- 池 井 柳 藏君 は豫て岡山醫科大學産科婦人科教室に勤務し居られしが今般辭職宮崎縣西諸縣郡小林町に於て開業せられたり

◎學位授與 福武敏重, 福田豊, 池井柳蔵, 小林英一の4君は論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが本年9月28日の教授會を通過し去11月28日附にて醫學博士の學位を授與せられたり。又筒井徳光, 細見英, 長谷川靜一, 津田稔の4君は論文を同大學に提出し學位を請求し居られしが本年10月5日の教授會を通過し本月10日附にて醫學博士の學位を授與せられたり其主論文及び參考論文は左の如し

福 武 敏 重 君

主 論 文

鼻腔粘膜ノ研究

- 其1. 鼻加多兒ノ發生ガ三叉神經, 顔面神經幹ノ切斷或ハ上頸神經節ノ摘出ニヨリテ如何ニ影響スルヤ (岡山醫科大學歐文業府ニテ發表ノ豫定)
- 其2. 「クロールカリウム」並ニ「クロールカルシウム」ノ鼻呼吸粘膜ニ及ボス作用ニ就テ (昭和5年11月本誌ニ發表セリ)
- 其3. 「コレステリン」並ニ「レチチン」ノ鼻呼吸粘膜ニ及ボス作用ニ就テ (昭和5年12月本誌ニ發表セリ)

參 考 論 文

1. 「クロールカリウム」及ビ「クロールカルシウム」ノ口蓋扁桃腺ニ及ボス頰頰的作用ニ關シ生體染色ノ成績ヲ顧慮シタル組織學的研究 (昭和6年5月本誌ニ發表セリ)
2. 「コレステリン」或ハ「レチチン」ノ注射ニ由テ起ル海癩螺旋狀神經節並ニ前庭神經節ノ細胞内ゴルギー氏装置ノ變化ニ就テ (昭和5年9月本誌ニ發表セリ)
3. 生體染色ノ所見ヲ顧慮シタル「コレステリン」及ビ「レチチン」ノ口蓋扁桃腺細胞ニ及ボス頰頰作用ニ就テノ研究 (昭和6年4月本誌ニ發表セリ)
4. 頭蓋内ニ侵入セル鼻咽腔纖維腫ノ1例 (明治45年6月大日本耳鼻咽喉科會々報ニ發表セリ)
5. 鼓室上窩化膿症ニ對スル手術的療法ニ就テ (耳鼻咽喉科雜誌ニ發表ノ豫定)

福 田 豊 君

主 論 文

呼吸瓦斯代謝ニ及ボス環境溫度ノ影響ニ關スル實驗的研究

- 第1報 正常家兎呼吸瓦斯代謝ニ及ボス環境溫度ノ影響
附 「クラーレ」注射家兎ノ呼吸瓦斯代謝ニ就テ
- 第2報 實驗的發熱動物ニ對スル環境溫度ノ影響 (以上日本內科學會雜誌第19卷第8號ニ發表セリ)
- 第3報 高溫ト呼吸瓦斯代謝
- 第4報 中樞遮斷家兎ニ對スル環境溫度ノ影響 (以上同誌第19卷第9號ニ發表セリ)
- 第5報 網狀織内被細胞系統ノ呼吸瓦斯代謝 (同誌第19卷第10號ニ發表ノ豫定)

參考論文

1. Tetrahydro-β-Naphthylamin 發熱ニ對スル諸種解熱劑及ビ睡眠劑ノ影響 (昭和6年9月日本內科學會雜誌ニ發表)
2. 肝臟製劑投與ニヨル窒素及ビ尿酸代謝ニ就テ (本誌第41年第12號ニ發表セリ)
3. 松村氏脚氣菌ニ對スル復試 (北山加一郎, 福田豐共著) (日本消化器病學會雜誌第29卷第12號ニ發表セリ)
4. 痛風ノ1例 (本誌第41年第10號ニ發表セリ)
5. 先天性筋強直症ノ2例 (福田豐, 横山丈夫共著) (本誌第41年第9號ニ發表セリ)
6. 岡山縣立高松農學校寄宿舎ニ發生セル猩紅熱ノ臨牀的觀察 特ニ其ノ血液像ニ就テ (村山高, 福田豐, 正木忠生) (本誌第40年第10號ニ發表セリ)
7. 「チフス」保菌者ニ對スル「ザリールガン」療法ニ就テ (治療及處方第115號ニ發表セリ)

池 井 柳 藏 君

主 論 文

性週期ニ關スル實驗的研究

- 其1. 性週期ニ影響スベキ外因ニ關スル實驗的研究 (日本內分泌學會雜誌第6卷第11號ニ發表セリ)
- 其2. 「レントゲン」線ノ「マウス」雌性生殖器竝ニ性週期ニ及ボス影響 (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

參考論文

1. 「マウス」雌性生殖器ノ性週期知見補遺竝ニ子宮水腫ノ成因ニ就テ (本誌第43年第4號ニ發表セリ)
2. 「マウス」雌性生殖ノ「オキシダーゼ」反應ト性週期トノ關係ニ就テ (本誌第43年第5號ニ發表セリ)
3. 腔粘膜ノ週期性變化ニ就テ (日本婦人科學會雜誌第24卷第5號ニ發表セリ)
4. 子宮外妊娠中絶ノ血液所見及ビ其診斷的價値ニ就キテ (本誌第42年第7號ニ發表セリ)
5. ランデツケル氏「ウルトラゾネ」ノ治療的價値(グレンツゲビート第3年第5號ニ發表セリ)
6. 妊娠診斷法トシテノ酒精基體反應ノ價値 (臨牀產科婦人科第5卷第1號ニ發表セリ)
7. 妊娠ニ起レル特發性完全耻骨々折ノ1例 (臨牀產科婦人科第6卷第3號ニ發表セリ)
8. 葡萄狀鬼胎妊娠中ニ發生セル變性性惡性脈絡膜上皮腫ノ1例 (臨牀產科婦人科第6卷第4號ニ發表セリ)

小 林 英 二 君

主 論 文

マンソン氏裂頭條蟲ノ發育ニ關スル研究

- 其1. 裂頭條蟲屬特ニマンソン氏裂頭條蟲卵子ノ胚ノ發育ニ就テ (臺灣醫學會雜誌第306號ニ發表セリ)

- 其 2. マンソン氏裂頭條蟲 卵ノ發育要約ニ就テ (臺灣醫學會雜誌第 307 號ニ發表セリ)
- 其 3. マンソン氏裂頭條蟲 卵ノ解化鉤球子及ビ鉤球子ノ氈毛膜脫去機轉ニ就テ (臺灣醫學會雜誌第 311 號ニ發表セリ)
- 其 4. 第一中間宿主ニ關スル實驗的研究及ビ第一中間宿主體內ニ於ケル「プロケルコイド」ノ發育 (臺灣醫學會雜誌第 312 號ニ發表セリ)
- 其 5. 「プロケルコイド」ノ第二中間宿主及ビ人體ヘノ感染徑路ニ關スル實驗的研究 (臺灣醫學會雜誌第 310 號ニ發表セリ)
- 其 6. 「プロケルコイド」ノ感染能力ト「プロケルコイド」ノ第二中間宿主體內ニ於ケル發育 (臺灣醫學會雜誌第 313 號ニ發表セリ)

參考論文

1. 「アンキロストーマ」屬各種感染仔蟲ト「ネカトール、アメリカヌス」ノ感染仔蟲トノ形態學的鑑別ニ就テ (臺灣醫學會雜誌第 275 號ニ發表セリ)
2. マンソン氏蟲 ノ感染徑路及ビ發育史並ニ同蟲ノ寄生ニ關スル眼結膜及ビ尿管ノ病變ニ就テ (臺灣醫學會雜誌第 280 號ニ發表セリ)
3. 吸蟲類生殖器ノ構造ニ就テ (第 1 報)
肥大吸蟲及ビ肝蛭ノ雄性生殖器ノ構造ニ關スル知見補遺 (臺灣醫學會雜誌第 308 號ニ發表セリ)

筒 井 德 光 君

主 論 文

Über das Vorkommen und die Bildung der Ehrlichschen Linie. (Archiv für Augenheilkunde. 103. Band (1930) ニ發表ス)

參考論文

1. Über den Einfluss der Blutbeschaffenheit auf das Rammerwasser. (Archiv für Augenheilkunde. 104. Band (1931) ニ發表セリ)
2. Über die Wirkung von Hautreizen auf die Pigmentwanderung der Retina bei einseitiger Sympathikotomie. (Archiv für Augenheilkunde. 104. Band (1931) ニ發表セリ)
3. 前胎生縫合白内障ノ 2 例ニ就テ (中央眼科醫報第 18 卷第 9 號ニ發表セリ)
4. 水晶體偏位症ノ検査法及ビ手術の療法ニ就テ (中央眼科醫報第 19 卷第 1 號ニ發表セリ)
5. 痛風眼症ノ 1 稀例ニ就テ (日本眼科學會雜誌第 33 卷第 7 號ニ發表セリ)

細 見 英 君

主 論 文

1. 聽神經機能遮斷後ニ於ケル内耳ノ組織的變化ニ就テ
其 1. 聽神經損傷ニヨル内耳病理 (大日本耳鼻咽喉科會々報第 35 卷第 4 號ニ發表セリ)
2. 同 第 2 回報告 (大日本耳鼻咽喉科會々報第 37 卷第 2 號ニ發表セリ)

參考論文

1. 或種ノ聽力障礙ニ對スル顔面神經内注射療法
 附. 顔面神經内色素液注射ニ關スル實驗的觀察 (大日本耳鼻咽喉科會々報第 37 卷第 6 號ニ
 發表ノ豫定)
2. 迷路炎性膿毒症ニ就テ (耳鼻咽喉科第 4 卷第 6 號ニ發表セリ)
3. 偏側性混合性喉頭麻痺ノ 3 例 (大日本耳鼻咽喉科會々報第 37 卷第 6 號ニ發表ノ豫定)
4. 耳性小腦膿瘍竝ニ化膿性軟腦膜炎ノ 1 治驗例 (小田大吉, 細見英共著) (本誌第 43 年第 1 號
 ニ發表セリ)

長 谷 川 靜 一 君

主 論 文

高度ノ室温中ニ於ケル劇働ノ兵員身體ニ及ボス影響 (海軍軍醫學會雜誌第 15 卷第 3 號ニ發表セリ)

參考論文

1. 海軍工廠職工ノ體格榮養ニ關スル統計的觀察
 附. 職工採擇ニ對スル體格檢査標準私案 (海軍軍醫學會雜誌第 18 卷第 1 號ニ發表セリ)
2. 海軍兵服地ノ衛生學的研究 (海軍軍醫學會雜誌第 19 卷第 3 號ニ發表セリ)
3. 長時間潛航ノ醫學的觀察 (軍機ノ秘密ニ涉ルモノヲ含ムヲ以テ發表スルヤ否ヤ未定)
4. 潜水艦内居住室及ビ作業室ノ「カタ」測定 (軍機ノ秘密ニ涉ルモノヲ含ムヲ以テ發表スルヤ否
 ヤ未定)

津 田 稔 君

主 論 文

脂肪竝ニ類脂肪體新陳代謝ニ關スル研究

- 其 1. 脂肪竝ニ類脂肪體新陳代謝ニ於ケル脾臟ノ意義 (本誌第 43 年第 3 號ニ發表セリ)
- 其 2. 「チロキシソ」ト脂肪竝ニ類脂肪體新陳代謝 (追テ本誌ニ發表スベシ)
- 其 3. 諸臟器ニ於ケル脂肪竝ニ類脂肪體新陳代謝ノ研究補遺 (追テ本誌ニ發表スベシ)

參考論文

1. 出血性「リベミー」ニ關スル知見補遺 (追テ本誌ニ發表スベシ)
2. 血液「カリウム」及ビ「カルチウム」ニ關スル研究
 特ニ貧血々液ニ於ケル「カリウム」及ビ「カルチウム」量ノ關係ニ就テ (本誌第 42 年第 1 號ニ
 發表セリ)
3. 植物神經ト血液「カリウム」及ビ「カルチウム」量トノ關係ニ就テ (本誌第 42 年第 2 號ニ發表セ
 リ)
4. 所謂流行性腦炎ニ就テノ實驗的研究 (醫學研究第 4 卷第 9 號ニ發表セリ)
5. 所謂流行性腦炎ニ就テノ細菌學的研究 (醫學研究第 4 卷第 9 號ニ發表セリ)
6. 所謂流行性腦炎患者ノ腦脊髄液所見 (醫學研究第 4 卷第 9 號ニ發表セリ)

◎神戸通信 十日會忘年會 本月10日午後8時より多聞通「治作」に忘年會を開く、來會者は下記の如く極めて盛會なりき

來會者

横山 三郎	橘 義一	佐野 實	戸田 亨	小池 輝
安東 寛	水野 善一	小澤 清躬	山本 陸治	渡邊 清
宮原 正康	高橋 四郎	中村 松男	石田 幾馬	折島 整
赤岩 亨二	滋野井 至孝	岩本 靜夫	伊藤 英雄	前田 三郎
蓮池 堯民	馬詰 征平	長谷川 恒治	藤田 境太	藤野 源三
朝倉 長三	清水 勝男	河合 忠義	本城 定男	三上 達郎
勝呂 學	水田 泰了	林 孝彦	高橋 彌宗一	山本 覺圓
前島 武夫	内田 綱太郎	星島 卓爾	安永 謙逸	田 和 輔
高祖 敏雅	藤原 政雄	清岡 直	柴田 義一	緒方 顯孝
立石 力	正木 忠生	谷口 耐	松島 朗	尾藤 太
人見楠右衛門	江口 博	結縁 主計	石川 適	山中 豊二
渡邊 傳二				

尙ほ來年の當番幹事を藤原政雄氏、勝呂學氏に依頼す

(渡邊)

◎岡山醫學會第341回通常會

來昭和7年1月21日午後4時より岡山醫科大學臨牀講義室に於て開會の筈なり

◎村山五瀬男君論文ノ本誌第43年第9號正誤

頁	行	誤	訂正
2352 頁	上ヨリ1行	試獸	試獸
2357 頁	第3表ノ終	卅 卅 卅w	十 十 十w
2363 頁	終ヨリ2行目	ノ組織球	四字抹削
2376 頁	上ヨリ12行	腦脊髓	腦脊髓
2377 頁	上ヨリ4行	其ビ	再ビ